

一般社団法人 全麵協

2023.12.16

ニュースフラッシュ 第34号



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

五段位認定者研修会開催



令和3・4年度五段位認定本審査会において合格し、新たに五段位に認定された方を対象に、全麵協主催で「そば道五段位認定者研修会」が12月9日から10日まで開催されました。

- 1 会場 平塚市勤労会館・平塚商工会議所
- 2 協力 伊勢原蕎麦打ち倶楽部
- 3 受講者数 35名
- 4 研修会内容

12月9日

第1講	全麵協の歴史と展望	中谷信一 理事長
第2講	五段位認定者の心得	山本良明 副理事長
第3講	いただをめざして (ヒマラヤ登いただ紀行)	登山家 三戸呂拓也 (国立登山研修所講師)

12月10日

そば打ち指導実習 1班・2班 ごとに各15名 合計30名	講義(体験者向け)	古賀学先生
	そば打ち体験者の指導	体験者30名
	講評 閉会	修了証授与

第1講では、中谷理事長から全麵協の歴史と今後の展望について、講義がありました。

第2講では、山本副理事長から五段位認定者の心得について講義があり、各支部の1名ずつから、本審査会で意見発表した内容のそれぞれの現在の充足度についてスピーチをいただきました。突然の指名でしたが、それぞれの地域で活動されている様子を堂々と紹介していただきました。

第3講では、登山家の三戸呂拓也先生から「頂をめざして」と題して講演をいただきました。登山での頂をめざすという視点からそば打ちでの頂をめざす視点へと通じるものがあることに気づかされました。そば道にも通じる「美学」と「人生を高める生き方」に、共感を覚えました。

2日目は、平塚市民の皆さんを対象にしたそば打ち体験者の実践的な指導を行いました。150名ほどの応募があった中で、初心者の方30名を対象に五段位認定者2～3名で指導に当たりました。多数の応募者の中から選ばれた受講者でしたので、積極的にそば打ちに挑戦していただきました。

普段から道場などで指導をしていますが、初心者となると勝手が違うかと思います。指導時間が限られていることもあり、口よりも手が出るが多くなり、山本副理事長の講評の中でも指摘を受けました。継続したそば打ち指導研修の重要性を感じました。

最後に中谷理事長から修了証をお渡しし、研修会を終了しました。今回の研修会に参加された皆さんが、今後全麺協の指導者として大いに活躍さ

れることを期待します。2日間にわたりご参加をいただき、大変お疲れさまでした。

(全麺協事務局 原秀夫)

各支部から大会の開催報告

令和5年度 四段位技能審査 尾道認定会開催報告



令和5
年度四段
位技能審
査尾道認
定会が11
月18日
(土)、
19日(日)
の2日間、
尾道農村

環境改善センターで開催され、受験者70名が日頃の練習の成果を披露しました。主管した西日本支部の実行委員と支部各地から参集した延べ81名(2日間)のスタッフで滞りなく進行することができました。

開会式では、審査員長である中谷理事長より【日々の自己研鑽した技量を発揮して合格を目指して下さい】との挨拶がありました。

また、審査結果講評では審査員長より四段位に相応しい服装と清潔感を大切にして欲しいことや、技術面では各工程での注意事項について細かく説明があり、受験者は真剣に傾聴していました。

今回、受験者70名の中で61名の方が合格されました。合格された方々も、あと一歩及ばなかった方々も、更なる技術向上を目指すと共に、全麺協の発展や地域貢献に活躍されることを期待いたします。

【合格者のコメント】

83歳 そば打ちが人生

わいわい芸備蕎麦塾 石塚恵津子



私は三重県の東部に在住している83才です。この地域は、支部の中でも遠隔地で各行事に参加したり交流する事もハードルが高いものがありました。

四段位を受験するに当たり支部が企画

する技術研修会にも積極的に参加し、研修会で指導されたことを続けるために、今年、現在所属のクラブに入会させていただきました。

入会したクラブでも、遠隔地の会員と研修効率を上げる方法として、zoomを活用して指導をしてもらうことにしていただきました。

この指導方法で令和5年度、四段位に合格することができました。その上、最優秀賞の栄誉まで受賞させていただき、早速、「わいわい芸備蕎麦塾三重おかげ道場」を開設して、楽しくそば打ちができる環境を作り、そば打ち文化の普及に貢献して行く思いです。

四段位認定され、更なる飛躍を目指して

平尾台手打ちそば倶楽部
上西ツタエ・小清水幸恵

今年3月の姫路での団体戦、富山でのそば大学や岡山有漢の合宿に参加した初めてのイベントは新鮮で楽しく、全国各地の皆様との新たなご縁、そば打ちをとおして自分たちの世界がとても広がった一年でした。その中にあって、四段位の受験申し込み後、気持ちを切り替えて練習に励みましたが、日がたつにつれて焦りと不安を感じていました。8月になり、支部主催の実技研修会が北九州の平尾台で開催されました。

研修会では、各自の課題が明確化され、練習の

取り組み方などが具体的に示されとても勉強になりました。

また、所属倶楽部や高段位の先輩方には、直前まで細やかなご指導をいただき感謝申し上げます。次なる五段位取得に向け切磋琢磨し、九州にそば文化を広げるように「そば道」に邁進いたします。



西日本支部 四国で初めての 認定会の開催

かねてより、西日本支部ではそば打ち人口の空白地でのそば打ち人口の拡大に努めてきました。

この度、私ども讃岐蕎麦道場の主催により、香川県高松市で11月26日に、四国で初めての認定会を開催することができました。受験者は、四国をはじめ県内外から初段位に15名が参加し、日頃の修練の成果を発揮し、全員が合格することができました。

審査員は、本部から赤羽章司専務理事、篠原美文西日本支部長、藤井正西日本副支部長に参加していただき、厳正な審査を行っていただきました。

今後も、四国でのそば文化の発展に努めてまいります。

(讃岐蕎麦道場代表 岸本直子)



第3回高段位別技術交流全道大会が開催



2023年11月19日石狩市花川南コミュニティーセンターにおいて第3回高段位別技術交流全道大会が開催されました。

三段位、四段位は各地区予選会を勝ち抜いた精鋭が集まり素晴らしい出来栄であり、甲乙つけがたいそば打ちでした。

五段位に至っては第3回目にして21人の精鋭に参加していただき、上位段位を目指すそば打ち仲間の見本となる競技をしてくださいました。

五段位21名全員が素晴らしいそば打ちをした結果、審査員が順位を付けるのが困るぐらいのそば打ちを披露していただきました。

表彰は、各段位毎に最優秀賞、優秀賞、敢闘賞が贈られました。



(北海道支部地域振興部長 服部 渉)

各支部からの報告

北海道そばフェスタ2023初開催

道内産の新そばを楽しめる北海道そばフェスタ2023が北海道新聞社、幌加内町、全麺協北海道支部等の共催で札幌市中央区の大通公園西8丁目を会場に第1期(10月18日から22日まで)第2期(10月25日から29日までの)10日間初開催期間中、道内外のそば店14店が出店し、多くのそば好きが足を止め新そばをすすっていました。

道内支部の愛好団体から、170名程の会員が参加しました。会場の一角では、北海道支部が担当しま

した手打ちそばの実演の解説付きの実況中継があり、土日には限定でそば打ち教室も開催しました。

前半は、小雨降る中、寒さと戦い手打ちそばの実演をしていただき感謝です。

残念ながらことですが、皆さんが一生懸命寒さと戦いながら打った手打ちそばの打ちたてを食べられなかったことです。

(北海道支部広報担当 高谷晶美)



第2回東川町留学生のそば打ち体験&食べる会



北海道旭川市に隣接する東川町で町の文化交流課主催の第2回目の留学生を対象としたそば打ち体験&そばを食べる会が今年4月18日に第1回目につき、10月26日に第2回目が開催された。

東川町の日本語学校には、17か国から350名が在籍しているそうです。

今回の参加者は、6歳から70歳位までの約100名で、そば打ちのデモを見学し、そば打ちを体験するなどそばに触れ合い、その後、食べて満足そうでした。

中谷理事長も視察に来町し、留学生と懇談して国際交流をしていました。

そば打ちのデモ及び指導に、沼本氏（じぞう庵）、松森ご夫妻（旭川そばスクールまつもり）、宮本氏、田中哲三氏（そば道場旭川）、川邊氏（沼田雪中そば倶楽部）、櫻庭氏中山氏（上砂川そば愛好会）、野崎氏（奈井江手打ちそば道光会）、甫木美千子氏（北海道そば研）、本部から中谷理事長、山本副理事長、赤羽専務理事、横田総務部長、篠原理事が参加しました。



（北海道支部広報担当 高谷晶美）

会員だより

「第三回胆振日高地区そば打ち交流会」4年ぶりの開催



コロナ禍で中断していた北海道支部道南地区の「第三回胆振日高地区そば打ち交流会」が11月11・12日の二日間、苫小牧市内の合宿施設におい

て4年ぶりに開催されました。地域のイベントや、コロナ感染もあり、6会員中の4会員で、49名の参加となりました。

初日は昨年の福井名人、加地豪氏のデモ打ちに魅せられ、夕方の懇親会で演じられた「エアそば打ち」は拍手喝采で盛り上がりました。

2日目は、4名の高段位者による更科粉・二八での「そば打ち技術指導」で始まり、5チームによる「そば打ち団体戦」では熱い声援が飛びかいました。最後に「活動紹介」で各会の状況を知り、旧知の仲間、新しい仲間、それぞれが新たな活動への力を得た意義深い二日間となりました。

（苫小牧手打ちそば愛好会事務局長 岩城一茂）

良いお年を
お迎え下さい

本部事務局は12月28日～1月4日まで年末年始の休みです。

皆様からの情報提供をお待ちしています。

全麺協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子